

平成28年度 基本方針

当連盟は全国の実業団バレーボールチームの統括団体としての役割を踏まえて、創立以来の基本理念を承継し加盟団体の支援と関係団体の協力の下に、積極的に時代の変化に柔軟に対応した活動を進めることの必要性を認識して、各種事業の見直しを行っている。

このような中で、当連盟は社会・経済情勢の変化に対応して一企業の枠を超えたチームづくりという原点に立ち返った地道な活動と、魅力ある新たな事業を展開することが急務であると考えている。

そのために、当連盟は 公益財団法人 日本バレーボール協会をはじめとする他のバレーボール団体、地域、自治体等とのこれまで以上の積極的な連携をもって、次の実行方針により活動を推進する。

1. 実業団バレーボール関係団体等との緊密な意思疎通をはかり、新時代に相応した理念を確立して、加盟チームに対する支援、協力を充実強化する。 このため
 - (1) 連盟の展望と事業に理解と協力を広め、企業(職場)組織及び地域・自治体等にも会員としての参加の呼びかけを行って、会員の維持・拡大に努める。
 - (2) 連盟内の情報共有化とコミュニケーションの一層の改善を図り、関係バレーボール団体等との協調・連携を強化し、新時代に相応しい連盟を構築する。
 - (3) 国民体育大会への9人制種目の復活を含め、今後の9人制バレーボールの普及発展に主導的な立場で取り組む。
2. 実業団スポーツの枠を拡げて、各層の誰もが挑戦し得る競技会とシステムを構築し、9人制並びに6人制バレーボールのトッププレイヤーの強化と、基盤層プレイヤーの育成の場として交流と相互練磨の機会を提供する。 このため
 - (1) 9人制バレーボールにおいては、櫻田記念大会他 各種大会を確実に運営するとともに、「第2回 全日本9人制バレーボールトップリーグ」の充実と定着化を図る。また、将来を見据え(公財)日本バレーボール協会9人制プロジェクト委員会に参画して、新たな発想でピラミッド型の大会組織を構築していく。
 - (2) 6人制バレーボールについては、日本バレーボールリーグ機構主催の「Vリーグ(プレミア・チャレンジ)」に続く、全国各地の基盤層チームの振興と拡充のために「全国6人制バレーボールリーグ総合男女優勝大会」並びに「全日本6人制バレーボール実業団選抜男女優勝大会」等の各種大会の有機的關係の強化と運営の改善を図る。
3. 「登録規程」の主旨を徹底し、JVAメンバー制度(個人登録)を積極的に活用して加盟チームおよび登録会員数の増加と地域における活動の拡大を図る。
4. バレーボール競技のPR・普及について、当連盟ホームページの充実等に積極的に取り組むとともに、メディア等への広報活動の充実を図る。